

このまちニュース

新しい年がやってきました。
14年 春
14号
 発行責任者
 いざき義治サポーターの会
 代長 篠江 隆
 Tel&Fax 04-7154-7333
 〒270-0111
 流山市 江戸川台 東1-174



流山市の子育て支援がどんどん進んでいます。駅前送迎保育ステーションなどはニュースで話題になっていますが、まだまだあります。子育て中のパパ・ママは見逃せないことばかり。いくつかの取り組みをご紹介します。

「母になるなら、流山市」加速中

涼しい学校に ヘンシンだ。

市立小中学校にエアコン導入
 流山市にある8つの中学校と15の小学校への、エアコン設置計画が進んでいます。2年前にはすべての教室に扇風機を2台設置しましたが、夏の暑さは厳しくなるばかり。今年は、夏も補習や部活などで使用頻度の高い中学校に。小学校は来年の予定です。快適な環境で学習がはかどるといいですね。

- 次のページで詳しく紹介しています。
- 小中併設校、来年の4月開校！
- 新しい学童クラブがオープン
- 市総合体育館、立て替えスタート
- 子ども医療費、小6まで拡大

流山本町江戸回廊にある旧県道の一部は、歩道が拡がり、車道もスピードが出しにくくなりました。ゆったりお店めぐりが楽しめます。

高齢者ふれあいの家が、12か所に増えました。
 おじいちゃん、おばあちゃんが、気軽におしゃべりしたり趣味や教養を楽しむ場「高齢者ふれあいの家」が、次々に誕生しています。民家などを借り上げたり、学童クラブを活用したりして、NPO、自治会などが市の補助を受けて運営。今後さらに増えるそうです。



**だんらんで
健康長生き。**

IZA! 講演会



木村俊昭さんの劇的な街づくり。

街の宝を掘り起こせ！

市民の知恵と力を市政に反映させる、井崎市政待望の講演会。講師は「小樽運河再生」や「やねだん」で有名な木村俊昭先生。やねだん（柳谷）は鹿児島県の柳谷ですめられた、集落ぐるみで豊かな生き方を目指した「村おこし」。人々の絆を深め、自治体の補助に頼らず、経済的自立をはかる自主的な取り組みです。目からウロコの地域活性術、その極意を聞きます。

講師：木村俊昭氏

1960年生まれ。小樽市産業振興課長、産業港湾部副参事（次長職）、内閣官房・内閣府企画官（地域活性化担当）、農林水産省大臣官房企画官として地域の担い手育成、地域ビジネス創出、「地域と大学との連携」などを担当。現在、東京農業大学教授、一般社団法人北海道活性化機構代表理事ほか。
 ◆主な著書『「できない」を「できる！」に変える』『自分たちの力でできる「まちおこし」~18の地域で起きた小さな奇跡』（実務教育出版）他多数。

奮ってご参加ください！

日時 平成26年2月1日（土）
 開場 18時（開演：18時半～20時）
 場所 生涯学習センターホール
 （TX流山セントラルパーク駅下車）
 会費 無料

主催／井崎義治を支える経済同友の会

毎日、井崎義治から目が離せない。

いざき義治ホームページ・リニューアル

いざき義治市長のホームページがリニューアルしました。ツイッターやフェイスブックもひとまとめ。市政ビジョンやマニフェスト、また各界の知名人との対談など中身もぎっしり。どんどん更新中、お楽しみに。



いっしょにワイワイやりませんか。

サポーターの会 のご案内

こんな人たちと地域で暮らしたいという方ばかりの、サポーターの会。流山を、さらに楽しく暮らしたい人、この指とまれ！

公式ホームページをご覧ください。

いざき義治

検索

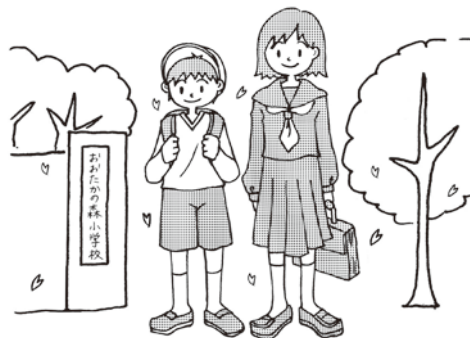
いざき義治サポーターの会

〒270-0111 流山市 江戸川台 東1-174
 Tel&Fax 04-7154-7333 HP www.izaki-yoshiharu.com

新しい学校はウッドフロント。

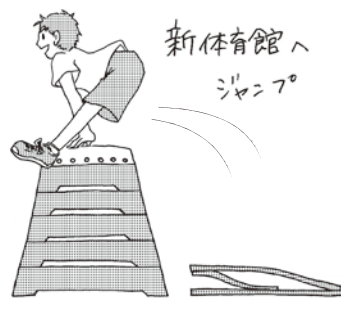
小中併設校、来年4月開校。

県立市野谷の森公園の南に、来年4月の開校をめざして小中併設校の建設が進んでいます。公募で選ばれた学校名「おおたかの森小学校」「おおたかの森中学校」が、昨年末の議会で正式に決まりました。学校内には、地域交流センター、児童図書館、学童クラブや防災備蓄倉庫も併設され、地域市民の交流の場にもなります。



平成28年春をめざして、総合体育館が新しくなります。

狭くて耐震性に問題のある市民総合体育館が建て替えられます。新しくメインアリーナとサブアリーナができ、別会場を用意しなくても市民大会などが新体育館だけで開催できます。もちろんバリアフリー。環境に配慮し、緑に囲まれた体育館となるそうです。



放課後を放っておけない。

新しい学童クラブ、この4月オープン。

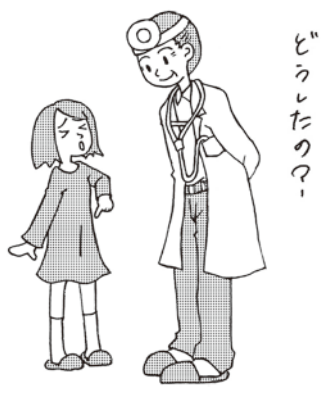
学童クラブの児童数も急増しています。昨年の東深井小学校第二、第三学童クラブの新增設に続き、この4月には、江戸川台小学校敷地内に第二、第三学童クラブ、小山小学校の学童クラブとして第二おおたかの森ルームが新設されます。

また、流山小学校の学童クラブの増築により定員が増えます。26年度(27年4月開設)には、たけのこルームが向小金小学校に移転し定員を増やすそうです。



子ども医療費の通院助成対象が小学6年生までに拡大しました。

流山市の子ども医療費の通院助成が昨年12月から、6年生までに拡大されました。県の補助拡充に流山市が上乗せをし、所得制限なしに1回200円で受診できるようになりました。なお入院は中学校3年生まで、同様に200円となっています。



運河駅に

とびっきりの

春。



利根運河の楽しみ倍増。

昨年末、東武野田線運河駅が一新。橋上駅となり、利根運河にある三角屋根の水深塔にあわせたデザインの駅舎が完成しました。今月から、東口広場や駅から利根運河を結ぶ植栽を凝らした歩行者専用道路も利用出来ます。ちょうど春、運河の桜並木は見ものです。よ。理窓会記念公園、利根運河水辺公園、利根運河交流館、蔵づくりの「ギャラリー平左衛門」など楽しみも多彩。

「うんが いい! 朝市」も人気です。

毎月、第4土曜日には朝8時半から昼過ぎまで、「うんが いい! 朝市」が開催されます。流山の美味しいもの、地元の採れたて野菜、ライブコンサートもあり、大人気です。桜の美しい利根運河、いちだんと楽しみです。

2000人の暮らしの足。

ぐりんバスNOW

ぐりんバスは現在5路線。1日2千人の方々が利用しています。昨年6月には南柏駅、流山おおたかの森駅で接続運転を開始し、30分毎の運行に改善されました。高齢者の利用も多く、通院、買い物などなくてはならない暮らしの足になっています。



流山のオシャレを歩く。

情報誌「ことりっぷ流山さんぽ」増刷。

流山のお洒落なカフェやレストラン、ギャラリーを紹介している情報誌「ことりっぷ流山さんぽ」。昭文社と流山市がコラボして制作、昨年10月に無料で配布されました。市内公共施設やTX沿線各駅、東武野田線の主要駅などに置かれ、たちまち品切れになったそうです。手に入らなかった方、市では近々に増刷するそうです。お楽しみに!



いっしょに、働きませんか?